



優秀賞

研修用堤防模型施設 (近畿技術事務所構内)

堤防の亀裂、陥没、法崩れ、ガリ、噴砂、護岸の目地開き、基礎部洗掘、端部浸食、樋門の抜け上がり、継手開き、土砂堆積等18種類、40箇所、73個の変状を再現

河川
技術
伝承



河川・ダム・砂防
・海岸分野

堤防等河川管理施設の点検、評価等に関する 技術者の育成

取組概要

河川管理施設の変状や損傷はすみやかに修繕されるため、講習等で変状を経験して点検技術を習得させることが困難なことから、多くの代表的な変状を再現した実物大の堤防模型が近畿技術事務所に整備された。近畿河川技術伝承会はこの整備にあたって変状内容等助言し、その実現に協力するとともに、整備された施設を活用した講習会等で点検技術を指導する講師を担い、点検や点検結果の評価を行う技術者の育成に貢献している。

受賞理由

確実な維持管理が行えるよう、点検の適切な実施・評価に資する研修体制の充実・強化が求められる中、堤防等河川管理施設の点検、評価等に関する技術者の育成に関する取り組みとして、技術的経験をマニュアル化することとともに、河川管理の点検技術継承の取り組みが評価できるため。

取組のポイント

河川行政の豊富な経験を有し、かつ河川維持管理技術者等の資格をもつ近畿河川技術伝承会会員が、変状を再現した実物大の堤防模型を用いて直接指導を行うことで、専門性をもった講習を実施。単なる点検作業の習得ではなく、河川管理施設を管理していくにあたっての着眼点や考え方も伝えることで、実際の河川管理に活かせる講習内容としている。

受賞者について



受賞者

近畿河川技術伝承会
(今井範雄会長以下約50名で構成)

コメント

平成26年度末の研修用堤防模型施設の設置を機に取り組んできた当活動に対し、今回このような名誉ある賞を頂くことができ、大変光栄に存じます。今後とも、自治体等も含め河川管理に携わる多くの若い職員へ堤防点検講習を通じて、河川管理施設の維持管理の技術力の向上に役立つよう、活動を続けて参ります。

団体概要

近畿河川技術伝承会は、近畿地方整備局に在職経験のある河川技術者が、培ってきた技術や貴重な体験を近畿地方整備局の職員等に引き継いでいくことを目的に、平成12年度から、研修講師や講演、意見交換、アドバイス、近畿技術事務所に設置された研修用堤防模型施設を使った堤防点検講習の実務指導等の活動を行っています。

問い合わせ先

近畿河川技術伝承会
事務局長 岡村 政彦
080-3826-0986 okamura@sky.email.ne.jp